

# ブラボー B1-VC

## フルデジタル ミニ耳かけ形補聴器

- プログラマブル (SP3またはCompass)
- 2チャンネルDSP (デジタル信号処理)
- ハイレベル コンプレッション (HLC)
- デジタル ボリュームコントロール

Bravo (ブラボー) のデジタル信号処理回路 (DSP) は信号を20ビット、32kHzの周波数でサンプリングします。ブラボー B1-VCはワイデックス社の豊かな経験に基づいて設計された、優れた補聴器です。

### ブラボー B1-VCの特徴：

- 2チャンネルDSP (デジタル信号処理)
- ハイレベル コンプレッションにより大きい音も快適に再生
- クロスオーバー周波数：1500Hzに固定
- オーディオグラムの最小可聴閾値に基づく特殊デジタルフィッティング原理
- 高周波帯域の利得調整によるハウリングの軽減
- ボリュームの変化をピープ音で知らせるデジタル ボリュームコントロール (±6dBレンジ)
- ピープ音で知らせるインジケータ付きM、MT、Tセッティング：テレコイル周波数レスポンスはマイクロフォン周波数レスポンスと等価に設定
- 電池寿命：約330時間
- 電池低下をピープ音で知らせるインジケータ
- 内部の可聴ノイズを最小限に軽減
- ダイレクトオーディオインプット
- 安全設計のバッテリーホルダー

B1-VCでは3種類のパラメータの微調整が可能です

LF : 低周波帯域の利得

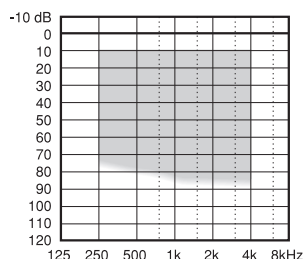
HF : 高周波帯域の利得

MPO : 最大出力

次のような方にお奨めします：

- 軽度、中度難聴
- 水平型、漸傾型

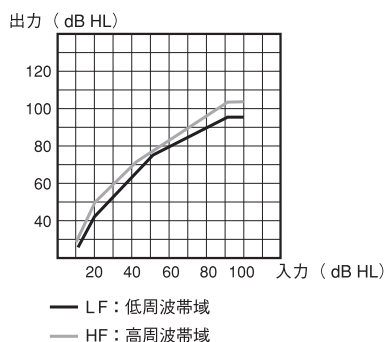
### フィッティングレンジ





# ブラボー B1-VC

## ハイレベル コンプレッション (HLC)



ブラボー B1モデルに採用されているハイレベル コンプレッション (HLC) は、通常の会話レベル以上の信号を圧縮します。圧縮比は低周波チャンネルでは2:1に、高周波チャンネルでは1.5:1に固定されています。通常の会話レベルから小さな音に対しては、NAL-R公式で計算された値を採用しています。

## プログラミング

ブラボー B1-VCはSP3ポータブル プログラマー、またはNOAH/COMPASSを使ってPCからプログラムすることができます。

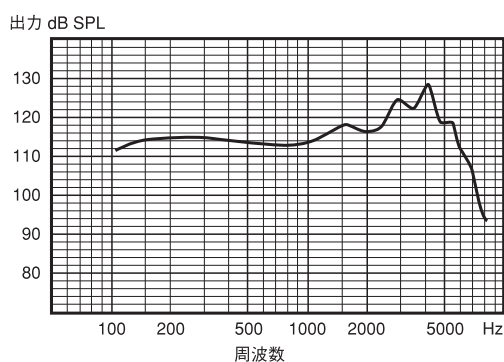
## フィードバックの対処

補聴に必要な利得がシェルの限界を超えると、音響フィードバック (ハウリング) が発生します。ハウリングを軽減するには高周波利得を下げる必要があります。パラメータの“HF”は低周波チャンネルの利得に影響せずに高周波チャンネルの利得のみを下げることで済むため、フィードバックを抑制します。

## 技術データ

		711 イヤシミュレータ
90dB最大出力	ピーク	132 dB SPL 以下
	1600 Hz	118 dB SPL
	500 Hz	114 dB SPL
最大音響利得	1600 Hz	64 dB
全高調波ひずみ	500 Hz	10.0 %以下
	800 Hz	3.0 %以下
	1600 Hz	2.0 %以下
消費電流		0.7 mA
電池寿命 (PR48空気電池にて)		330 時間
誘導コイル入力最大感度		94 dB

最大出力 (イヤシミュレータ IEC711)



世界性能、あなたの耳に。

# ワイデックス

ワイデックス株式会社

〒131-0034 東京都墨田区堤通1-19-9  
リバーサイド隅田セントラルタワー

TEL. ☎00777-81810 (無料) FAX. 03-5631-3175

札幌・仙台・東京・横浜・名古屋・大阪・広島・福岡

<http://www.widexjp.co.jp>